

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	81 非核平和都市推進事業	会計	01	一般会計
基本	38 互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
策	6 非核平和都市の推進	目	21	諸費
		細目	102	非核平和都市推進経費
	細々目	01	非核平和都市推進経費	
基本計画該当頁		146~149		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 070100	評価者 氏名	大橋 久和	連絡先 22 - 9631 (内線) 2175
	名称 人権政策部人権政策課			

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民及び中学生 (※対象件数)	○原爆の日に広島平和記念式典に参列することから原爆の恐ろしさと平和の大切さを学び、自校での還流学習や市民啓発に役立て、非核平和について考える機会を意識的につくることできる。 ○市内の全中学校で平和学習に取り組むことが、恒久平和を願う意識の向上を保つ
事業内容	○市内のすべての中学校から各1名を広島に派遣し、平和記念式典への参加や原爆資料館等で平和学習を実施 ○市内中学校3校において平和学習会を実施 ○(各支所単位で)原爆パネル展の実施 ○戦争関係資料の収集、保存、教材化	戦後60年以上を経過し、戦争の記憶も薄れていく中で、後世へ戦争の恐ろしさを伝え、平和の尊さを改めて考え直す機会づくりが必要である。中学生広島派遣事業は、被爆体験講話の受講や式典会場での広島から世界へのメッセージを肌で体験し、自身が各学校への平和の使者として還流を行う意義ある研修であると、高く評価されている。H21年度は1泊2日と期間を縮め、経費を縮小し実施する。また、これまで毎年市内中学校3校に平和学習の費用を助成している事業については、全校11校すべてを対象に実施することとし、継続した平和学習への取り組みを支援することとした。
根拠法令・要綱等	伊賀市非核平和都市宣言	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
広島派遣事業の実施	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
平和学習推進事業の実施	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
		目標 — 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
広島派遣事業への中学生参加者数	全学校生徒の参加	人	目標 12 実績 12	目標 12 実績 12	11	11
平和学習推進事業実施学校数	指定学校での事業実施	校	目標 3 実績 3	目標 3 実績 3	11	11

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	「伊賀市非核平和都市宣言」のもと、戦争の悲惨さを風かささることなく再び戦争という過ちを繰り返さず、平和の尊さを後世へ伝えるための必要な事業
有効性	3	原爆の日に広島平和記念式典に参加することで得た体験やそれぞれの学校における平和学習内容を、自校での還流学習や広報等で有効に市民に啓発している。
達成度	4	各中学校から1名ずつではあるが広島派遣事業に参加し、そこで得た体験や感想を自校での還流学習や市民啓発に有意義に活用することができた。この事業の一定の成果は達成できたといえる。
効率性	4	次世代を担う中学生の非核平和への取り組み等を紹介することで、効果的に市民への啓発を行っている。コスト面や事業内容について検討した結果、H21年度より1泊2日の行程で実施するとともに、11校すべてに平和学習会として還流学習の充実を図る予定である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	事業のマンネリ化も懸念されているが、被爆体験者が年々減っていくなかで、原爆の日に記念式典に参列し貴重な体験をする事業を継続することは有効な手法である。他国で核実験が実施された事実も踏まえ、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを引き続き啓発していかなければならない。

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額															
委託 工事	事業内容	旅費		(千円) 60	旅費		(千円) 64	旅費		(千円) 42									
		消耗品費		25	広島派遣委託料		850	広島派遣委託料		620									
		広島派遣委託料		850	平和学習委託料		90	平和学習委託料		220									
		平和学習委託料		90															
進捗率 (%)		事業費計(A)	Σ	1,025	事業費計(A)	Σ	1,004	事業費計(A)	Σ	882									
事業投入人員		人件費(B)	0.3	人 1,800	人件費(B)	0.5	人 3,600												
フルコスト (A)+(B)				2,825			4,604			4,482			4,482			4,482			4,482

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	1,025	1,004	882	882	882
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	1,025	1,004	882	882	882
計	1,025	1,004	882	882	882
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				